

## 第 Ⅲ 部

平成24年度全国精神保健福祉センター長会  
第48回全国精神保健福祉センター研究協議会

## 第48回全国精神保健福祉センター研究協議会開催プログラム

会場：地方職員共済組合湯田保養所「翠山荘」

山口市湯田温泉三丁目1番1号

### 第1日目 平成24年10月23日（火）

#### ○ 全国精神保健福祉センター長会理事会

10：00～11：00	理事会受付	フリースタ (2階)
11：00～12：00	全国精神保健福祉センター長会理事会	

#### ○ 全国精神保健福祉センター長会会議

12：30～13：00	センター長会受付	カトリア (2階)
13：00～14：45	全国精神保健福祉センター長会会議	

#### ○ 全国精神保健福祉センター研究協議会

12：30～14：40	研究協議会受付	カトリア (2階)
14：55～15：05	全国精神保健福祉センター研究協議会 開会式	
15：10～17：00	講演 「精神保健福祉行政の動向」 厚生労働省精神・障害保健課 心の健康づくり対策官 河 嶋 讓 氏	
	講演 「松下村塾の人づくり」 萩市特別学芸員 山口福祉文化大学特任教授 一 坂 太 郎 氏	

#### ○ 意見交換会

17：30～19：00	意見交換会	カトリア (2階)
-------------	-------	--------------

### 第2日目 平成24年10月24日（水）

#### ○ 全国精神保健福祉センター研究協議会

8：40～9：00	研究協議会受付	カトリア (2階)
9：00～12：00	一般演題A～C	
12：00～13：20	休憩	
13：20～15：20	一般演題D～E	
15：20～15：30	全国精神保健福祉センター研究協議会 閉会式	

講 演

## 精神保健福祉行政の動向

厚生労働省 精神・障害保健課 心の健康づくり対策官 河 鳶 讓 氏

講 演

## 松下村塾の人づくり

萩博物館特別学芸員、山口福祉文化大学特任教授 一 坂 太 郎 氏

# 第48回全国精神保健福祉センター研究協議会

## 一般演題発表プログラム

平成24年10月24日（水）

9：00～15：20

## 一般演題発表プログラム

### A 制度、プログラム等 9:00~10:00 座長：石元 康仁（徳島県精神保健福祉センター所長）

誌上	No	演 題 名	所 属 名	発表者名	頁
	A1	札幌市における市長同意による医療保護入院に関する調査～平成19年度、23年度の新規事例の比較～	札幌市精神保健福祉センター	金子 亜紀子	
	A2	保護者制度・入院制度の見直しについての緊急アンケートの報告と今後の課題	北海道立精神保健福祉センター	二口 之則	
	A3	精神障害者保健福祉手帳用診断書の適切な記載への取り組みについて	相模原市精神保健福祉センター	坪井 輝護	
	A4	群馬県における高次脳機能障害者の支援体制について ー地域支援ネットワーク構築に向けての取り組みと課題ー	群馬県こころの健康センター	大友 由香	
○	A5	高次脳機能障害の相談支援体制の確立に向けた取り組み ー高次脳機能障害者支援担当者会議の立ち上げから 見えてきたことー	川崎市百合丘障害者センター	根岸 葉子	
	A6	集団認知行動療法を取り入れたうつ病デイケアの取り組み	広島県立総合精神保健福祉センター	中 保子	
	A7	うつ病デイケアの試み（第2報）	福岡県精神保健福祉センター	阿部 安莉	
○	A8	仙台市精神保健福祉総合センターデイケア「リワーク準備コース」の立ち上げと経過	仙台市精神保健福祉総合センター	森谷 郁子	
○	A9	メンタル疾患で休職した復職者とその上司へのアンケート調査 ー復職支援に関する認識の実態把握と支援策についての一考察ー	岡山県精神保健福祉センター	加藤 一葉	
質疑（10:00まで）					

### B 自殺防止 10:10~11:10 座長：山崎 正雄（高知県立精神保健福祉センター所長）

誌上	No	演 題 名	所 属 名	発表者名	頁
	B1	長崎県における“誰でもゲートキーパー作戦”	長崎県長崎こども・女性・障害者支援センター	木口 富士枝	
	B2	警察との連携による自殺未遂者相談支援事業について	大阪市こころの健康センター	金森 かずみ	
	B3	青森県における自死遺族のつどい（分かち合い）の取り組み状況	青森県立精神保健福祉センター	菊池 優子	
	B4	和歌山県における自死遺族支援の取り組み ーわかちあいの会和歌山「うめの花」の活動からの一考察ー	和歌山県精神保健福祉センター	北川 朋子	
	B5	自死遺族支援に関する一考察 ～当センターでの取組より～	島根県立心と体の相談センター	川本 広志	
	B6	精神通院自立支援医療受給者の自殺率について	新潟県精神保健福祉センター	阿部 俊幸	
質疑（11:10まで）					

### C 児童・青年期 11:20~12:00 座長：太田順一郎（岡山市こころの健康センター所長）

誌上	No	演 題 名	所 属 名	発表者名	頁
	C1	中学生のメンタルヘルスの現状と取組み ー思春期メンタルヘルス実態調査から自殺関連行動を中心にー	浜松市精神保健福祉センター	高林 智子	
	C2	若年者の自殺対策に関する調査研究等事業 ～児童生徒のこころと行動に関する調査結果より～	宮城県精神保健福祉センター	大場 ゆかり	
○	C3	思春期青年期相談における学校支援 ー学校連携事業の取り組みー	東京都立精神保健福祉センター	桑子 明善	
	C4	こころの健康早期支援事業の実践から ～早期支援を進めるために～	岡山市こころの健康センター	川上 真紀	
	C5	子どもと大人の絆を深めるプログラム「CARE」の実践	さいたま市こころの健康センター	緒方 広海	
○	C6	摂食障害家族交流会の実践報告 ～参加者のインタビューより～	滋賀県立精神保健福祉センター	藤支 有理	
質疑（12:00まで）					

**昼食・休憩 12:00~13:20**

**D ひきこもり 13:20～14:20 座長：原田 豊（鳥取県立精神保健福祉センター所長）**

誌上	No	演 題 名	所 属 名	発表者名	頁
	D1	ひきこもり青年を対象としたアクティビティグループ活動の報告	山梨県立精神保健福祉センター	小野 裕子	
	D2	ひきこもり当事者のグループ活動と個別相談の効果について	兵庫県精神保健福祉センター	中村 亮	
○	D3	ひきこもりグループ活動における教材研究 ～陶芸カレンダー作りの取り組み～	島根県立心と体の相談センター	佐藤 寛志	
○	D4	滋賀県ひきこもり支援センターでの当事者グループの活動実践報告	滋賀県立精神保健福祉センター	高木 久美子	
	D5	大分県こころとからだの相談支援センターのひきこもり相談の現状と今後のとりくみについて ～過去3年間の支援を振り返って～	大分県こころとからだの相談支援センター	川島 英行	
	D6	ひきこもり支援の今後の課題 ～「ひきこもり2022年問題」支援を拒否するひきこもり者が独居になるとき～	鳥取県立精神保健福祉センター	上原 俊平	
	D7	発達障害事例に対する心理検査を用いた支援の試み ～ひきこもり相談の中で出会う発達障害が疑われる事例に対して～	堺市こころの健康センター	真志田 直希	
	D8	ひきこもりの家族グループにおけるファシリテーターの役割	京都市こころの健康増進センター	中村 圭助	
質疑（14：20まで）					

**E アウトリーチほか 14:30～15:20 座長：藤田 健三（岡山県精神保健福祉センター所長）**

誌上	No	演 題 名	所 属 名	発表者名	頁
	E1	平成23年度精神障害者アウトリーチ支援に係る調査事業報告 ～精神保健福祉センターの役割と機能に関連させて～	神奈川県精神保健福祉センター	小島 伸一郎	
	E2	多摩総合精神保健福祉センターにおけるアウトリーチ支援事業のとりくみ	東京都立多摩総合精神保健福祉センター	内山 美根子	
○	E3	川崎市精神保健福祉センターにおける地域精神保健チームの機能と役割 ～アウトリーチ活動の実践から～	川崎市精神保健福祉センター	森江 信子	
○	E4	触法行為による処遇歴のある広汎性発達障害者へのアウトリーチ支援 ～多機関連携と危機介入：その効果と問題点～	東京都立多摩総合精神保健福祉センター	熊代 奈津子	
	E5	東京都立中部総合精神保健福祉センターにおける危機対応型短期宿泊事業（クライシスユニット）の実際	東京都立中部総合精神保健福祉センター	阿部 敏幸	
	E6	地域で当事者と家族を支えるネットワークづくりについて ～地域で孤立していた困難事例を通して～	岡山県精神保健福祉センター	二井内 裕子	
○	E7	鳥取県職員におけるメンタルヘルス対策及び睡眠調査 ～知事部局全職員を対象とした「睡眠と疲労に関する調査」から～	鳥取県立精神保健福祉センター	原田 豊	
○	E8	浜松市在住外国人メンタルヘルス相談の実施について	浜松市精神保健福祉センター	益井 多美子	
	E9	地域依存症対策推進モデル事業を実施して	山口県精神保健福祉センター	岩本 浩子	
質疑（15：20まで）					

お 願 い

- 各演題の発表時間は7分以内です。厳守してください。
- 質問される方は手短かに発言していただき、質問項目は多くとも二つまでとしてください。
- 座長は、終了予定時刻までに、すべてを終了してください。  
時間がない場合は、質疑の時間を短縮または省略してください。  
発表ごとの座長コメントは、控えてください。